

実践ライブラリー：小学部 おんがく「さんぽにレッツゴー！」

- ・ 踊ったりジャンプしたり、音楽に合わせて身体を動かすのが好き！
- ・ 触れ合い遊びが好き！

「誰かと一緒に楽しみたい」という思いや「心地よい」という気持ちを共有できる瞬間をつくりたい！

①サーキット「さんぽ」

「さんぽ」の歌詞のイメージに合わせたサーキットコースを作り、ピアノの伴奏に合わせて歩きました。人と繋がる場面、他者を意識する瞬間を作ることで、「この人とやりたい！」と思える活動になるように仕組みました。

「さかみち」「トンネル」「いっぽんばし」「でこぼこじゃりみち」「くものす」をイメージして、スロープや平均台、ブロック、ゴム紐のゾーンを設定しました。ゴム紐の「くものす」をくぐった先にはクモが動く様子を教師がこちょこちょで表現しました。「トンネル」では、教師が作ったトンネルが落ちてきて捕まってしまいます。



②「さんぽ」にレッツゴー！

伴奏が鳴りだすと自然と歩き始める子どもたち。周りの教師や友だちとスピードを合わせて歩いたり、ゾーンを超えたところで待っている教師との触れ合いに期待感を持って歩いたりする姿が見られました。初めは楽しくて走り回っていた子どもも音楽に合わせて足踏みするようになり…



「わたしもこちょこちょ役する！！」

こちょこちょが楽しみ！

いっしょに歩きたいな



子どもの反応

「もう1回やりたい！」

③ストップ！ジャンプ！

高音域の伴奏でテンポを速めたり、低音域の伴奏でテンポを遅めたりして、音楽からうける印象が変わることで違いに気づき、歩く速さを変える姿が見られました。音楽のテンポだけでなくリズムの違い、ストップ・ジャンプの合図にも、歩き方を変えたり、自分なりの表現をしたりする姿がありました。ジャンプまでの準備の合図に気づき、「まだだよ」「いま！」のようにジェスチャーをおくる姿も。

みんなでジャンプ！そろった！



まだだよ、まだだよ…



おすすめポイント

「この合図で止まる」「この合図で早歩き」などの指示を出さなくても、子どもたちが音楽から感じ取り、自ら表現する姿が素敵！！